

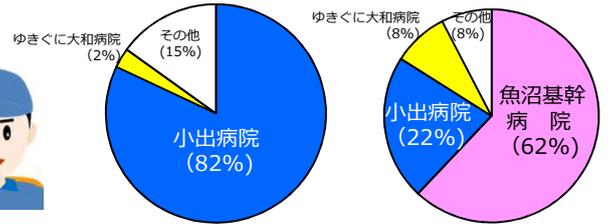
救急搬送を担う消防署の声

- 魚沼基幹病院開院後は、基幹病院への搬送が多くなったため、より**安全にスムーズに搬送可能な浦佐バイパス**を利用しています。
- バイパスは道が広く、カーブや振動もないため、安全・スムーズに通行できており、**救急車内での応急処置もしやすくなった**と感じています。

※魚沼市消防本部へのヒアリング結果（調査日：H27.9月）



魚沼地区からの救急搬送状況



魚沼基幹病院開院前 (H24.4~H27.5)

魚沼基幹病院開院後 (H27.6~H27.7)

※魚沼市消防本部からの提供資料に基づき集計

道路利用者へのアンケート調査結果

- 魚沼市・南魚沼市在住の方の多くが今回開通の効果として、「魚沼基幹病院又はゆきぐに大和病院へのアクセス向上が図られた」と回答。特に魚沼市在住の方では約6割が効果があったと回答。

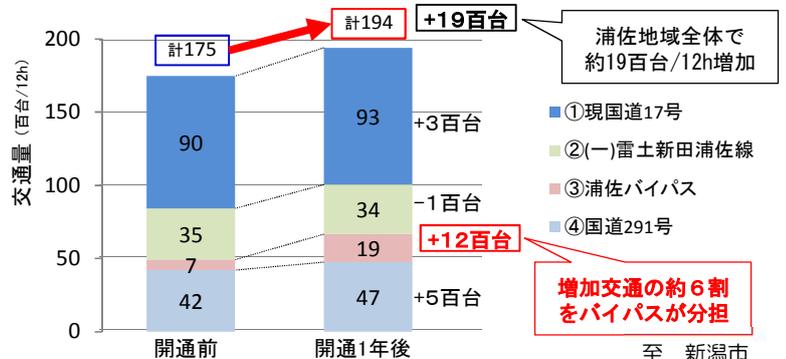
【バイパス部分開通による浦佐地域への効果】	魚沼市居住者 (回答者29人)	南魚沼市居住者 (回答者29人)
・交通混雑が緩和された	21%	38%
・冬期間の走行性が向上	7%	21%
・魚沼基幹病院（又はゆきぐに大和病院）へのアクセス性が向上	59%	45%
・大和スマートICへのアクセス性が向上	24%	17%
・バイパス周辺の観光・レジャー施設へのアクセス性が向上	24%	14%
・事故の危険性が減少、又は自転車等の走りやすさが向上	10%	24%
・その他	21%	17%

※全回答者数は103名。うちバイパスが通過する南魚沼市・魚沼市を抜粋
※調査日：H27.9月 調査方法：WEBアンケート

開通1年後の交通状況

- 浦佐バイパスの交通量は約**1,200台増加**。
- 浦佐地域全体の交通量は病院開院の影響もあり、約**1,900台増加**。
- 浦佐地域で増大した交通量の約**6割を浦佐バイパスが負担**。

浦佐地域の交通量変化【A-A'断面】



位置図

